

お客さま本位の業務運営に係る基本方針

株式会社富山常備健康クラブ（以下、「当社」といいます。）は、親会社のビジョンである「一人でも多くのお客さまを健康にします！元気にします！」を、保険を通じて実現するために創業しました。

当社は、お客さま一人ひとりが、健康で元気に暮らすためのお手伝いができるように、「お客さま本位の業務運営に係る基本方針」を定め、本方針の実践に努めます。

【方針１】お客さま最善の利益の追求

当社は、全役職員が社会正義に合致した正しい論理的価値観を持ち、お客さまを中心とする公平・公正な業務運営を実施するとともに、「お客さまの声」を商品やサービスの改善に活かす取組みを推進し、お客さまの最善の利益を追求してまいります。

- 当社は、お客さまの最善の利益を追求する企業文化が定着するよう努めるとともに、お客さまの最善の利益を図ることにより、自らの安定した顧客基盤と収益の確保につなげていくことを目指します。

【方針２】利益相反の適切な管理

お客さまの利益を不当に害することのないように適正な業務を遂行するため、利益相反のおそれがある取引を適切に管理するための体制を整備し、維持・改善に努めます。

【方針３】お客さまにふさわしいサービスの提供

当社は、少額短期保険の特性を生かし、お客さまのニーズに機動的にこたえる商品の開発に努めるとともに、お客さまの多様なニーズにこたえるために、商品ラインナップやサービスの拡充に取り組みます。

また、ご提案に際しては、お客さまのご意向を把握し、ご意向に沿った商品・サービスのご案内に努めてまいります。

- 当社は、従業員がその取り扱う保険商品の仕組み等に係る理解を深めるよう努めるとともに、お客さまに対して、基本的な知識を得られるための情報提供を積極的に行います。

【方針４】重要な情報の分かりやすい提供

当社は、保険商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報をお客さまが理解できるよう分かりやすく提供します。

- 重要な情報には、お客さまに対して販売・推奨等を行う保険商品の選定理由を含みます。
- 当社は、お客さまの経験や知識を考慮の上、明確、平易であって、誤解を招くこと

のない誠実な内容の情報提供を行います。

- 当社は、お客さまに対して情報を提供する際には、情報を重要性に応じて区分し、より重要な情報については特に強調するなどしてお客さまの注意を促します。

【方針 5】従業員に対す適切な動機づけの枠組み等

当社は、お客さまの最善の利益を追求するための行動、お客さまへの誠実・公正な対応、利益相反の適切な管理等を推進するため、業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制を整備します。

- 当社は、当方針に関して実施する内容について、これらに携わる従業員に周知するとともに、当該従業員の業務を支援・検証するための体制を整備します。

以上

「顧客本位の業務運営に関する原則」に示されている内容との対応関係

「お客さま本位の業務運営に係る基本方針」について、金融庁の定める「顧客本位の業務運営に関する原則」の原則 2～7 に示されている内容との対応関係は以下のとおりです。

顧客本位の業務運営に関する原則		取組方針との対応関係	
【顧客の最善の利益の追求】	原則2	方針1	お客さま最善の利益の追求
【利益相反の適切な管理】	原則3	方針2	利益相反の適切な管理
【重要な情報のわかりやすい提供】	原則5	方針4	重要な重要な情報のわかりやすい提供
【顧客にふさわしいサービスの提供】	原則6	方針3	お客さまにふさわしいサービスの提供
【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】	原則7	方針5	従業員に対する適切な動機づけの枠組みの等

【ご参考】

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下、「金融庁原則」という。）と当社「お客さま本位の業務運営に係る基本方針」（以下、「当社基本方針」という。）の関係は、以下のとおりとなります。

※金融庁原則には、各原則に付されている（注）を含みます。

※金融庁原則 4、原則 5（注 2・注 4）、原則 6（注 1～注 4・注 6・注 7）、補足原則 2（注 1・注 2）、補足原則 3（注 1～注 3）、補足原則 4（注 1～注 3）および補足原則（補足原則 5・注 1・注 2）は当社の取引上、あるいは当該商品・取扱サービスがないため、当社基本方針の対象としておりません。

※金融庁原則の詳細につきましては、金融庁ホームページをご覧ください。

金融庁ホームページおよび該当箇所

<https://www.fsa.go.jp/>

<https://www.fsa.go.jp/policy/kokyakuhoni/kokyakuhoni.html>